

部局名	生涯学習部	所属名	文化・スポーツ課	所属長名	頭司 孝弘	電 話	481-0305
-----	-------	-----	----------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3540		事務事業名称	文化伝承館運営事業					短縮コード	経常	3540	臨時	
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	07	文化伝承館費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		八千代市文化伝承館の設置及び管理に関する条例，八千代市文化伝承館の設置及び管理に関する条例施行規則，八千代市文化伝承館に勤務する職員の勤務時間に関する規則						
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
平成8年5月，市内に残る無形の民俗文化や日本の伝統文化の保存・継承・育成・そして振興と発展を目的として開館し活動を始めた。事業活動促進のため，伝統文化への場の提供することと普及啓発のため，主催講座や伝統文化資料の展示を行い，伝統文化の技を継承するための指導も行う。また，調査保存継承のために，市内の民俗調査や記録保存のための事業も実施する。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	5本の柱（章）	02	人間尊重都市をめざして					
開館当初に比べると市民に広く周知され，主催講座等への参加数も増加した。しかし，開館15年が経過し，参加者や利用者の固定化・定着化が見られ，今後新たな事業や，手法を講ずる必要がある。						大項目（節）	05	文化					
						中 項 目	02	文化財					
						小項目（施策）	01	文化財の保護と活用					
						細 項 目	03	伝統文化の継承					
実施計画の計画事業													
計画事業の位置付けの有無				☐	計 画 事 業 期 間		～			計 画 事 業 費	千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	市民									
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成22年度に実際に行ったこと： 主催講座は伝統文化に親しむ会（草田の花見茶会，十五夜の月見，かぎろひ，雛節供），八千代の民俗文化再発見（儀礼の継承），子供茶道入門，折紙くらぶ，お手玉くらぶ，伝承文化を習おう（昔遊び編，紙芝居編）などで，広報事業として，文化伝承館だより「継」14号発行，地域の伝承文化の紹介資料である「伝承文化の散歩道⑤，⑥，⑦」の発行，伝承文化継続活動の指導者の派遣，及び伝統文化活動の場の提供									
	※平成23年度に計画していること： 主催講座は伝統文化に親しむ会（十五夜の月見，雛節供），八千代の民俗文化再発見（伝承文化の散歩道散策），子供茶道入門，折紙くらぶ，あやとりリズムゴムとびくらぶ，伝承文化を習おう（昔遊び編，紙芝居編），紙芝居と昔話の会などで，広報事業として，文化伝承館だより「継」の継続発行，「伝承文化の散歩道」の継続発行，伝承文化継続活動の指導者の派遣，及び伝統文化活動の場の提供									
意図 （何を狙っているのか）	主催事業への参加者の増加により，八千代に残る伝承文化に興味をもった人が増えること。八千代に残る昔話を紙芝居にして伝えるために貸出を行い，市民に八千代の歴史と文化を伝える。									
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外									
区 分					単位	2 1 年度	2 2 年度		2 3 年度	
						実績	計画	実績	計画	
対象指標	指標 1	市民	人	192, 570	196, 000	193, 274	196, 400			
	指標 2									
	指標 3									
活動指標	指標 1	開館日数	日	292	292	286	293			
	指標 2	利用人数	人	17, 828	18, 900	17, 492	18, 900			
	指標 3	主催講座数	講座	137	148	152	145			
成果指標	指標 1	主催講座参加者	人	2, 863	3, 000	3, 298	3, 400			
	指標 2	昔話の紙芝居貸出回数	回	26	30	27	30			
	指標 3									
上位成果指標	指標 1									
	指標 2									
	指標 3									

コード		3540	事務事業名称	文化伝承館運営事業			所属名	文化・スポーツ課
			単位	2 1 年度	2 2 年度		2 3 年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円	0	0	0	0	
		県	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		一般財源	千円	648	543	499	598	
		その他	千円	0	0	0	0	
	主な事業費の内訳			報償費50千円 消耗品費102千円 使用料及び賃借料102千円	報償費50千円 消耗品費67千円 使用料及び賃借料102千円	報償費50千円 消耗品費55千円 使用料及び賃借料102千円	報償費48千円 消耗品費52千円 使用料及び賃借料85千円	
人件費 (B)			千円	6, 334. 8	6, 285. 5	6, 285. 5	8, 580. 5	
ト ー タ ル コ ス ト (A) + (B)			千円	6, 982. 8	6, 828. 5	6, 784. 5	9, 178. 5	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分	理 由										
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている	この事業の発展が八千代市全体の伝統文化の継承につながり，ひいては日本人らしい風雅な心を取り戻し，人間尊重都市をめざしている。										
			☐ 結び付くが見直しの余地がある											
			☐ 結びつきが弱い・ない											
			☐ 評価対象外事項											
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している	伝統文化の継承のために，今後とも継承事業を続ける必要がある。										
			☒ 達成していない											
			☐ 評価対象外事項											
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある	八千代の民俗文化などの保存・継承・育成事業は，市の使命であり市が率先して伝えるべきもので，民営化にはなじまない。										
			☒ 可能性はない											
			☐ 評価対象外事項											
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい	現状の「対象」「意図」の設定で，事務事業を行うことにより結果につながる。										
			☐ 見直す必要がある											
☐ 評価対象外事項														
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2，3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある	館職員のみでの運営でなく，文化伝承館ボランティア団体「ゆいの会」や伝統文化団体など幅広く協力や共催する形で主催事業などを企画し運営している。										
			☐ 効率性向上の可能性はある											
			☐ 両方可能性がある											
			☒ 可能性がない											
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等											
			☐ 臨時的任用職員等の活用											
			☐ I T 化等の業務プロセスの見直し											
			☐ 受益者負担の見直し											
			☐ 類似事業との統合・役割見直し							類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)	
			☐ 上記以外の方法								2		実施主体 (所管部署)	
	⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある											
			☐ ない											

コード	3540	事務事業名称	文化伝承館運営事業				所属名	文化・スポーツ課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			文化伝承館ボランティア団体「ゆいの会」や伝統文化団体からの協力を得ながら、事業を実施している。今後もこのように団体の協力を得ながら事業を推進していく。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			現状の事業を確実に実施することで, 伝承文化の継承は維持されていく。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
八千代の文化の拠点として、利用しやすい施設や使いやすい運営をしてほしいとの要望があったり、主催講座の受講生からは、地域に密着した文化をより深く知りたいとの要望もあった。									

所属長コメント	地域の団体や学校からの伝承文化の普及発展のために、文化伝承館ゆいの会や伝承文化活動団体との協力・連携を深め、本市の伝承文化のより一層の充実を図ってまいりたい。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
	☐ その他								
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☒ 現状のまま継続									